2024年度（54期）
環境経営レポート

2024.5～2025.4

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT

Matsumura Alloy Dies Laboratory Co., Ltd.　Environmental Activities Report

株式会社 松村合金ダイス研究所

2025年5月31日

2024年度環境経営レポート　目次

- ご挨拶　経営理念　・・・・・・・・・・・・Ｐ３
- 環境経営方針　品質方針　・・・・・・・・Ｐ４～5
- EA21実施体制図　・・・・・・・・・・・・P6
- 組織の概要　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
- 主な環境目標及びその実績　・・・・・・・Ｐ８～9
- 環境活動の取り組み計画と評価　・・・・Ｐ10～12
- CO2排出量の
  構成比・実績及び計画値グラフ　・・・Ｐ13～16
- 環境関連法規制等の順守状況　・・・・・Ｐ１７
- 代表者による
  全体の評価と見直し、指示　・・・・・Ｐ１７
- 様々な活動（３Ｓ－Ｓ活動・火災訓練）　・・・・Ｐ18～20
- カーボンニュートラル
  に向けたわが社の取り組み　・・・・・Ｐ21

ご　挨　拶

株式会社　松村合金ダイス研究所

代表取締役　松村　謙三

ごあいさつ

2025年1月20日トランプ大統領が就任し関税に関して大きな政策を打ち出され、世界経済に大きな混乱を与えました。また中東情勢も引き続き大きな問題を与えています。昨年に引き続き原油は高く、円安からくる材料の高騰、レアアースの輸出調整等経済に大きな影響を与えて続けています。環境に関しては地球の温暖化による深刻な問題が世界各地で発生しています。地球の温暖化に関しては短期間で解決できるもではありません。各個人が常に意識して取り組んでいかなければならないテーマです。このような取り組みと合わせて当社が維持継続できる経営環境にも取り組んでいかなければなりません。厳しい状況は続きますが、「環境経営マネジメントシステム」をより一層前進させて企業業績の改善を図って行きます。また環境面においては、CO2削減への努力を進めてまいります。

経　営　理　念

一、私達は心豊かな生活をおくる為の会社づくりを目指し、
共に悩み、考え、学び、喜べる関係を作ります。

一、私達は日々進歩する技術に積極的に取り組み、
お客様からの信頼を得るもの創りを行い、共に事業の
永続的繁栄を目指します。

一、私達は「もの創り」を通して、地域社会と共に歩める
会社創りを考えます。

株式会社　松村合金ダイス研究所

環　境　経　営　方　針

＊＊　環　境　理　念　＊＊

地球環境を維持するために、「私たちができる、小さな努力です」運動を展開し、私たちが作り出す樹脂押出成形金型を通じて、お客様が環境にやさしい製品を創造することにより、社会貢献とともに、地球環境保全を意識した企業作りを構築し、循環型及び低炭素社会の一翼を担っていきます。

＊＊　環境保全への行動指針　＊＊

1. 次の事項について環境目標•活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- •電力（工場、事務所）
- •自動車燃料（社用車）
- •灯油

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

- •一般廃棄物（可燃ごみ）
- •産業廃棄物（金属くず、廃油）

③排水量の削減（水資源の保全）

- •一般水道水

④企業価値向上

- •経営指針書　課題と対策を実施することにより、企業価値向上に努める
- •地域での環境活動への積極的な参加（事業所周辺の清掃等）

⑤化学物質の管理

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日:2008年10月8日
改定日:2024年7月5日

署名　代表取締役社長

松村　謙三

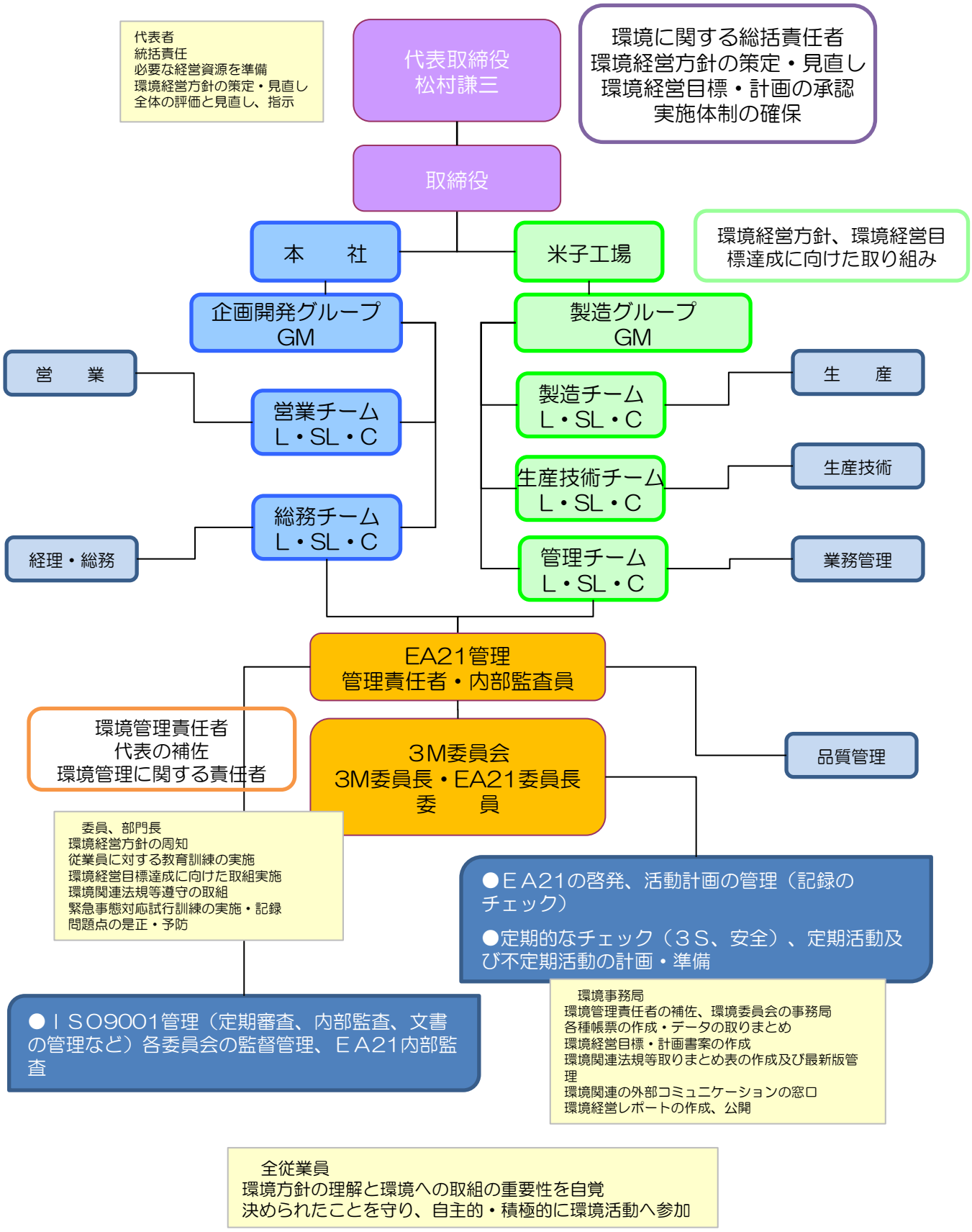
品　質　方　針

当社は全てのお客様の期待に応える質の高いサービスの提供をする。
顧客満足の絶え間ない向上を目指し、製品、そしてサービスの継続的改善を実践する。
当社の業績向上は、当社の品質管理マネジメントシステムの枠組みに基づく業務の実行、業務に求められる基準の理解、業務プロセスの改善、及び絶えず高められる品質目標を満たす事により獲得できる。

制定　2006年6月1日

JQA-QMA
13544

２０２４年度　㈱松村合金ダイス研究所　EA21実施体制図



更新日：2024.5.1

□組織の概要

1.事業署名
株式会社　松村合金ダイス研究所
代表取締役社長　松村謙三
2.所在地
本　　社：大阪府東大阪市豊浦町2番2号
米子工場：鳥取県米子市和田町1305番地
Webｻｲﾄ ：　https://matsumura-die.co.jp
e-mail　：　info@matsumura-die.co.jp
3.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者　　：取締役　松村 幸俊
電話：072-988-3059　ＦＡＸ：072-986-8643
4.事業内容（認証・登録の範囲）
電線及びチューブ用の樹脂押出成型金型の設計及び製造
5.事業の規模

	本　社	米子工場	合　計
社員数	7名	１１名	１８名
延べ床面積	３３０㎡	７６５㎡	1095㎡

6.事業年度
５月～４月

□主な環境負荷の実績（全社）

項　目	単位	目標数値	2024年度 実績
二酸化炭素排出量（対象：エネルギー総量）	kg-CO2	46,792	46,763
一般廃棄物量排出量	kg	404(本社) 459(米子)	444(本社) 310(米子
産業廃棄物排出量	kg		230
総排水量	㎥	287	293

□環境目標及びその実績　　※項目の番号は環境経営方針・環境保全への行動指針の番号

項　目 ＼ 年　度			実績			目標	実績	目標	
			2021年	2022年	2023年	2024年	2024年	2025年	2026年
			上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
			中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
			下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
①電力の二酸化炭素排出量削減 [排出係数] 本社：0.434 米子：0.552 ※2021年度は係数が違うので注意	kg-CO2		41,149	35,660	34,578	34,509	35,235	**35,165**	35,095
			8,009	4,425	4,252	4,243	4,277	**4,269**	4,260
			33,140	31,235	30,326	30,266	30,958	**30,896**	30,835
	前年度対比		103%	86.7%	97.0%	99.8%	101.9%	**99.8%**	99.8%
使用電力量	kWh	本社	14,695	10,197	9,797		9,855		
		米子	60,807	56,585	54,939		56,084		
①ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		6,518	7,587	8,167	8,151	7,032	**7,018**	7,004
			5,828	6,956	7,530	7,515	6,407	**6,394**	6,381
			690	630	637	636	625	**624**	623
	前年度対比		101%	116.4%	107.7%	99.8%	86.1%	**99.8%**	99.8%
①灯油の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2		3,999	3,552	4,141	4,133	4,496	**4,487**	4,478
			1,253	806	672	671	671	**670**	668
			2,746	2,746	3,469	3,462	3,825	**3,817**	3,810
	前年度対比		132.2%	94.2%	116.6%	99.8%	108.5%	99.8%	99.8%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		51,665	46,799	46,886	46,792	46,763	**46,670**	46,577

項　目 ＼ 年　度		実績			目標	実績	目標	
		2021年	2022年	2023年	2024年	2024年	2025年	2026年
		上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
		中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
		下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
②一般廃棄物の削減 本社	（kg／年）	491	457	405	404	444	443	443
	前年度対比	104.8%	93.2%	88.5%	99.8%	109.7%	99.8%	99.8%
②一般廃棄物の削減 米子	（kg／年）	420	510	460	459	310	309	309
	前年度対比	67.7%	121.4%	90.2%	99.8%	67.4	99.8%	99.8%
②一般廃棄物総括	（kg／年）	911	967	865	863	754	753	751
	前年度対比	83.7%	106.1%	89.4%	99.8%		99.8%	99.8%
②産業廃棄物（金属くず）の削減 ・大成商事 米子	（kg／年）	2,532	2,210	2,155	2,151	1739	1,736	1,732
	前年度対比	136.1%	87.3%	97.5%	99.8%	68.7	99.8%	99.8%
②産業廃棄物（混合）の削減 ・山陰クリエート 米子	（kg／年）	0	230	回収無し	229	230	回収無し	229
	前回比 （回収は2年に1度）	–	–	–	99.5%	-	-	99.5%
③水道水の削減（節水）	（㎥／年）	396	353	288.0	287.4	293.0	292.4	291.0
		106	69	65.0	64.9	67.0	66.9	67.0
		290	284	223.0	222.6	226.0	225.5	224.0
	前年度対比 本社	91.3%	89.1%	81.6%	99.8%	101.7%	99.5%	99.5%
	前年度対比 米子	99.3%	65.1%	94.2%	99.8%	103.1%	99.5%	99.5%
④社会貢献 製品・サービスへの環境配慮（修理金額）千円	本社	1,828	1,857	1,557	1,635	1,713	1,798	1,888
④社会貢献 社会貢献として工場周辺の清掃を致します	（年）	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回	（本社） 48回 （米子） 2回

＊上記の他化学物質管理を実施しています。
＊数値は自動計算値を使用のために一の位は変動します。
＊都市ガス・ＬＰＧは含まず
＊表の数値は自動の計算の為、一の位の数値が正確でない場合があります

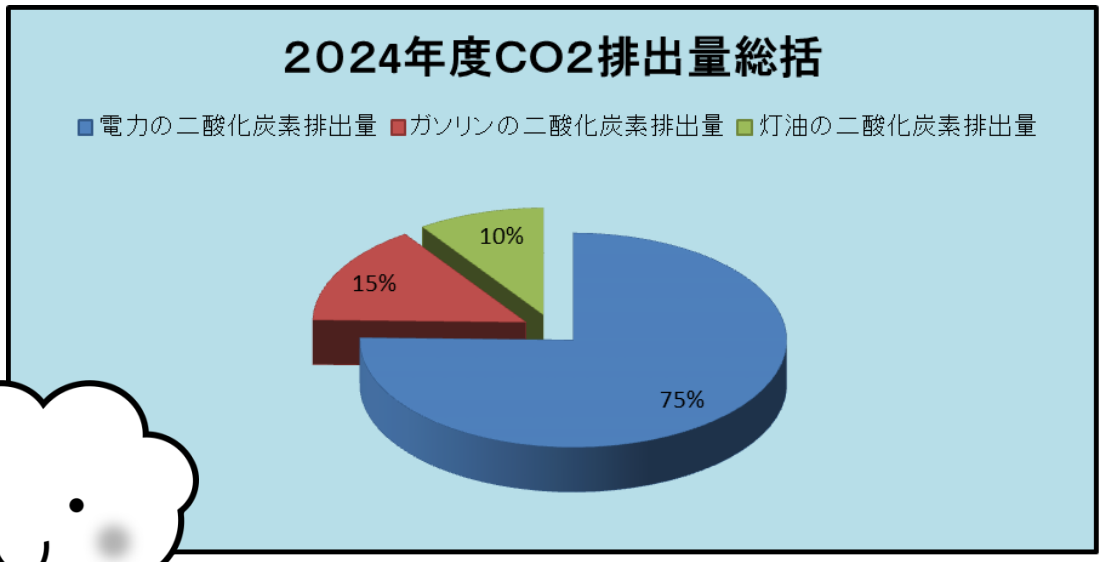
□２０２４年度　環境活動の取り組み計画と評価

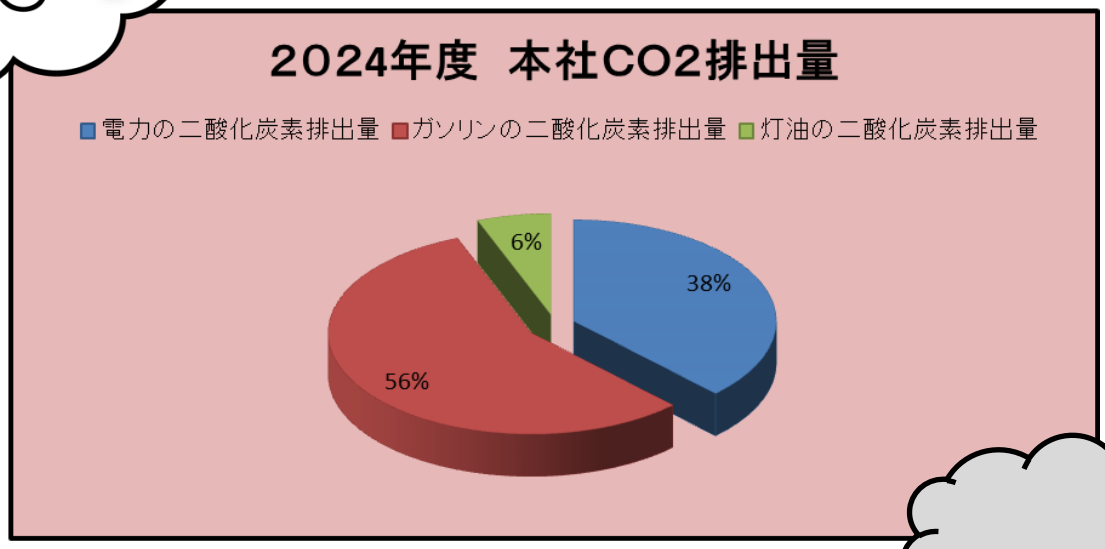
取り組み計画	達成状況		単位 前年度比	評価と次年度の取り組み計画
①電力の削減			ｋｇ-CO2	■本社：目標未達成 現在の日本の気象状況が亜熱帯化が進んでおり、本来であれば日本の四季があり空調などは必要のない季節があったのですが、昨今は夏と冬しかなく1年を通じて空調機器にお世話になっている気がします。その中で電力の削減を管理するのは難しい事とは思いますが、常に意識を持ち取り組んでいきましょう。 ・次年度目標→99.8% ■米子工場：目標未達成 休日出勤が増えているのが増加の原因の一つだと思います。あと室温管理はどうでしょうか再考の余地があるかもしてません。 ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価（kg-CO2/万円） 前年度：1.64→今年度：1.46
■ 節電運動展開 ■ 不要照明の消灯 ■ クールビズ・ウォームビズ運動 ■ 工程ロス削減による稼働時間短縮 ■ 標識・表示による啓発 ■ 冷房２８℃　暖房20℃（基準温度計設置）	目標：総轄	34,509	99.8%	
	目標：本社	4,243		
	目標：米子	30,266		
	実績：総轄	35,235	101.9%	
	実績：本社	4,277		
	実績：米子	30,958		
①ガソリンの削減			ｋｇ-CO2	■本社：目標達成 紛争の影響により原油価格は高騰を続けています。当然ガソリン価格も止まることを知らずに高騰を続けています。そのような中でガソリンの使用量の削減を目指すにはやはり計画的営業の実践、エコドライブの推進、低燃費車への買い替えがありますが、買い替えについては企業の業績に大きく左右されます。費用対効果を考えつつ、慎重に取り組みましょう。 ・次年度目標→99.8% ■米子工場：目標未達成 問題のないレベルだと思います。 ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価（kg-CO2/万円） 前年度：0.51→今年度：0.38
■ アイドリングストップ ■ 急加速・急停車の防止 ■ 燃費のよい車の購入（更新時） ■ 公共交通機関の利用促進 ■ 表示による啓発	目標：総轄	8,151	99.8%	
	目標：本社	7,515		
	目標：米子	636		
	実績：総轄	7,032	86.1%	
	実績：本社	6,407		
	実績：米子	625		
①灯油使用量の削減			ｋｇ-CO2	■本社：目標未達成 総量に関しては変化はありませんが、今後電気代も同様に高騰していくと思います。何か提案があればなんでも結構ですから、発言していきましょう。現場にいる皆さんが一番に感じると思いますのでよろしくお願いいたします。 次年度目標→99.8% ■米子工場：目標未達成 電気使用量と同時期に「X」になっています。昨年と比べて気温の変動は変わらないと思いますが問題は休日出勤にあるのでしょうか、何らかの形でチェックしたいところです ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価（kg-CO2/万円） 前年度：0.26→今年度：0.24
■ 表示による啓発 ■ 基準温度計を元に室温管理 ■ ウォームビズの推進	目標：総轄	4,129	99.7%	
	目標：本社	667		
	目標：米子	3,462		
	実績：総轄	4,496	108.5%	
	実績：本社	671		
	実績：米子	3,825		
②一般廃棄物の削減			kg	■本社：目標未達成 状況に応じて変化が大きくあると思います。注意しながら行動しましょう。・次年度目標→99..8% ■米子工場：目標達成 排出量を少なく出来た。 ・次年度目標→99.8% 特に問題は無いと思います ◎原単位評価
■ 裏紙使用 ■ ミスコピーの防止 ■ 分別による古紙のリサイクル化 ■ 両面印刷用プリンタ購入 ■ マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	目標：本社	404	99.8%	
	実績：本社	444	109.7%	
	目標：米子	459	99.8%	
	実績：米子	350	76.1%	

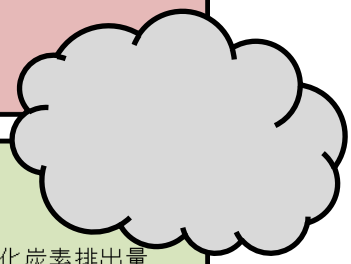
取り組み計画	達成状況		単位 前年度比	
②産業廃棄物（混合）の削減			kg	■米子工場 特に問題は無いと思います。
	目標：総轄	229	99.8%	
	目標：米子	229	99.8%	
	実績：総轄	230		
	実績：米子	230		
③水道水の削減 ■節水呼びかけ ■シャワーノズル取り付け ■表示による啓発 ※基準年度及び数値			㎥	■本社：目標達成 ・次年度目標→99.8% 評価＝△ 使用量としては最小レベルでは無いでしょうか ■米子工場：目標達成 ・次年度目標→99.8% 評価＝△ 変動幅としては問題のないレベルだと思いますが、意識は持って取り組んでいきましょう ◎原単位評価
	目標：総轄	287		
	目標：本社	64.9	99.8%	
	目標：米子	222.6	99.8%	
	実績：総轄	293.0		
	実績：本社	67.0	101.7%	
	実績：米子	226.0	103.1%	
④生産性の向上・社会貢献 ■展示会への参加 ■新入社員獲得のための活動（ハローワークとの連携，インターンシップの受け入れ等）				■目標未達成 今期はマンパワー不足を解消するためにかなり休日出勤等の応援を頂きました。その結果数値的には目標値達成となりました。しかし人材不足に関してはこのままの状態では厳しい状況です、早急に解決策を講じなければなりません。
製品・サービスへの環境配慮 ■修理品販売高 管理場所　本社			（千円）	■目標達成
	目標：総轄	1,635	105%	
	目標：本社	1,635		
	実績：総轄	1,713	105%	
	実績：本社	1,713		
社会貢献 ■工場周辺の清掃　本社 ■工場周辺の共同清掃　米子	本社目標	毎週		■目標達成
	実績	毎週	100%	
	米子目標	年2回		
	実績	2回	100%	

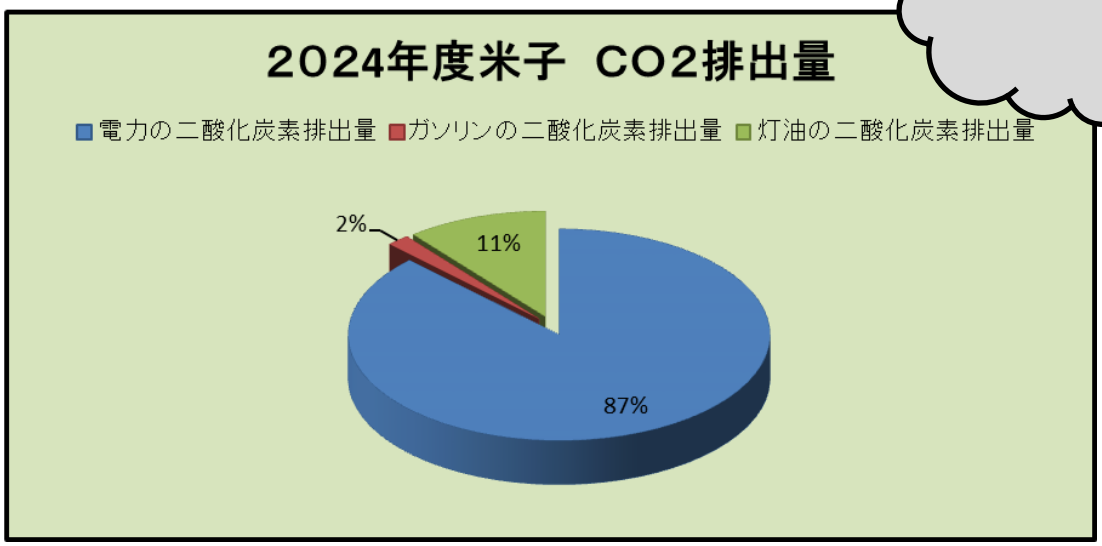
取り組み計画	取り組み結果	
⑤化学物質の管理 （コバルト及びその他無機化合物の管理） ■管理場所　米子工場	健康診断	作業担当者は年2回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	作業主任者選任	
	発散抑制装置設置	
	作業記録の30年間保管	
	2013年1月1日付けで施行された、労働安全施行令等の一部改正により、特定化学物質の第2分類として「コバルト及びその他無機化合物」が新たに追加された。	
その他 （粉じんの濃度測定の管理） ■管理場所　米子工場	健康診断	作業担当者は3年に1回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	発散抑制装置設置	
その他 （フロン排出抑制法） ■管理場所　本社、米子工場	簡易点検：３カ月に１回 定期点検：7.5kW～50kWの空調機３年に１回以上	

2024年度　CO2排出量の構成比



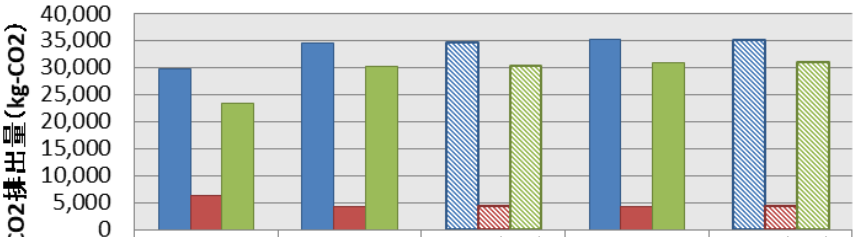






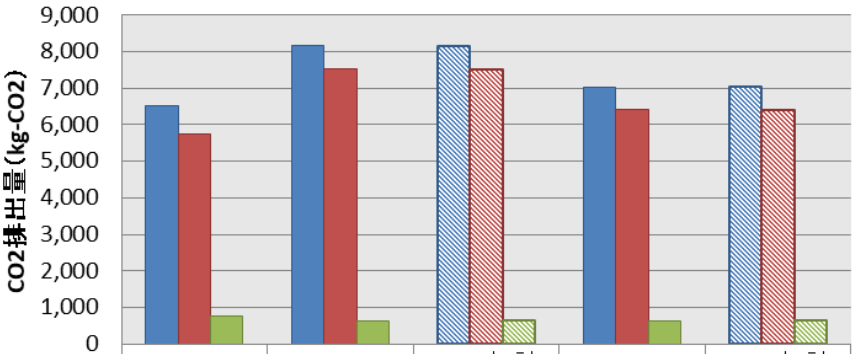
2024年度　実績及び計画値グラフ

電力の二酸化炭素総排出量



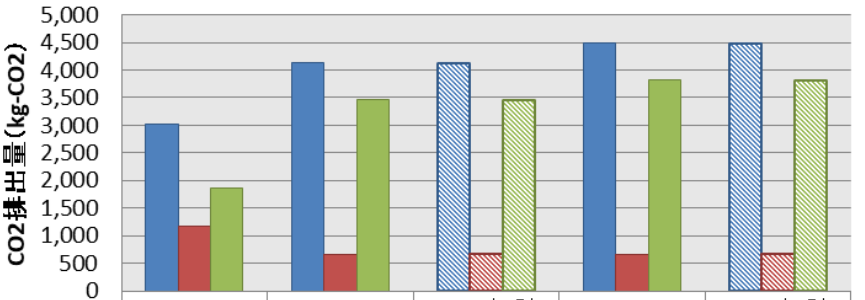
	2022年	2023年	2024年計画	2024年	2025年計画
総括	29,825	34,578	34,509	35,235	35,165
本社	6,317	4,252	4,243	4,277	4,269
米子	23,508	30,326	30,266	30,958	30,896

ガソリンの二酸化炭素総排出量



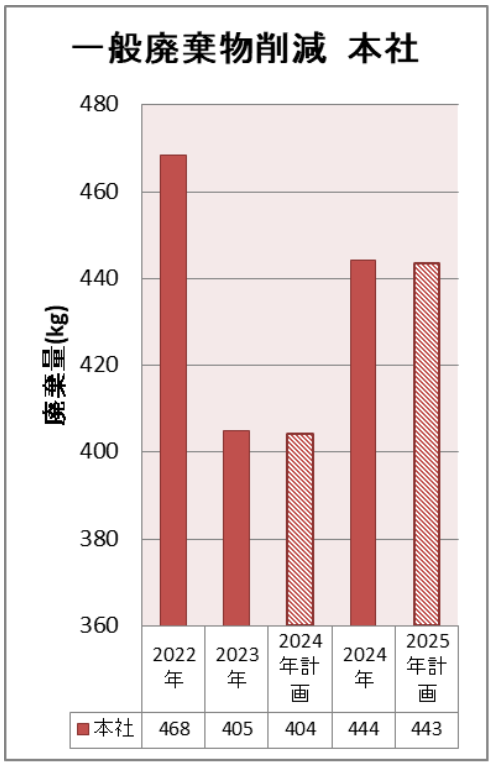
	2022年	2023年	2024年計画	2024年	2025年計画
総括	6,508	8,167	8,151	7,032	7,018
本社	5,751	7,530	7,515	6,407	6,394
米子	757	637	636	625	624

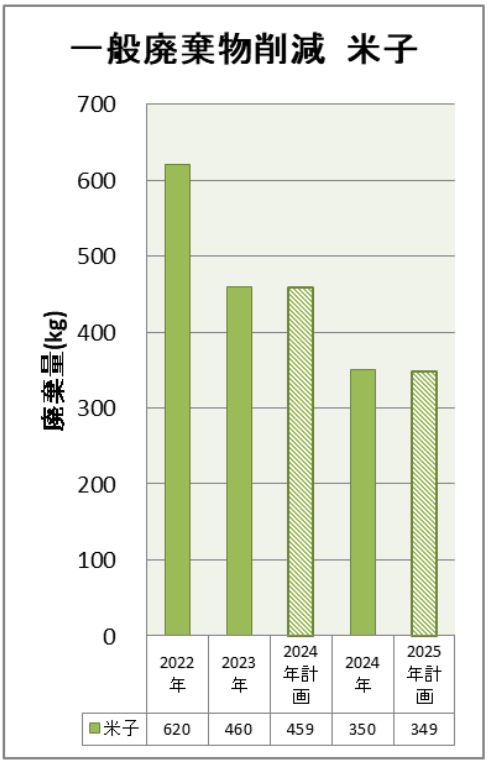
灯油の二酸化炭素総排出量

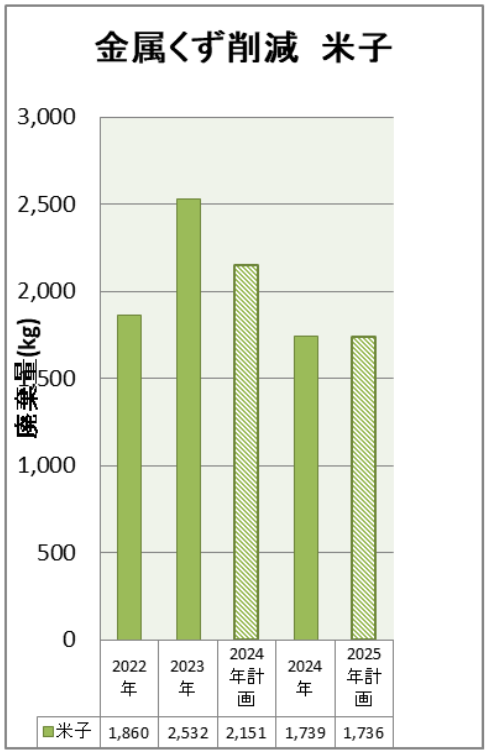


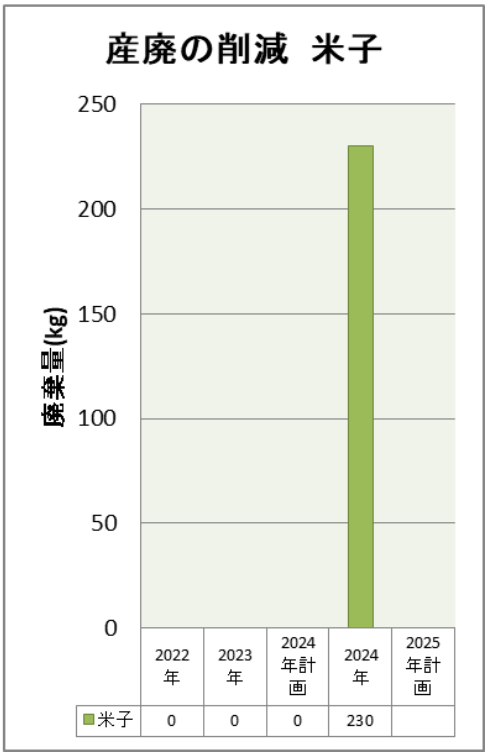
	2022年	2023年	2024年計画	2024年	2025年計画
総括	3,025	4,142	4,129	4,496	4,487
本社	1,164	671	667	671	670
米子	1,861	3,471	3,462	3,825	3,817

2024年度　実績及び計画値グラフ

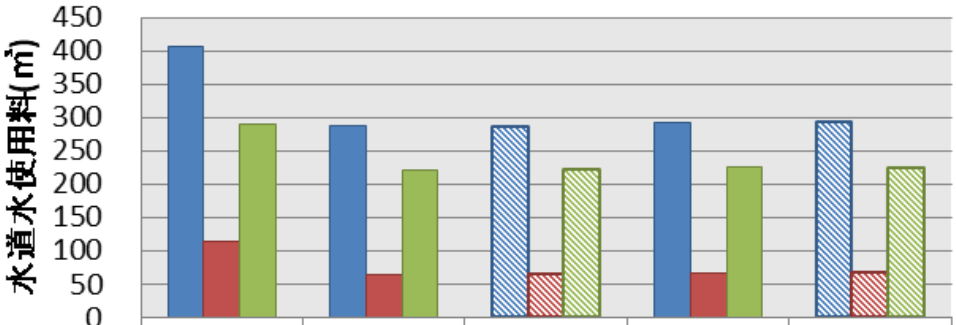




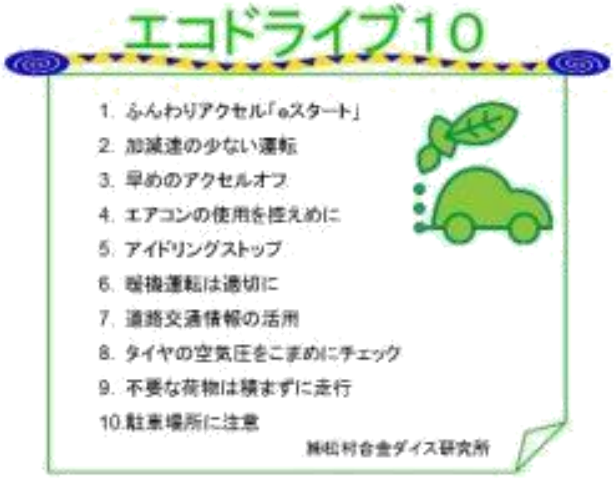




水道水の削減



	2022年	2023年	2024年計画	2024年	2025年計画
総括	408	288	287	293.0	292.4
本社	116	65	64.9	67.0	66.9
米子	292	223	222.6	226.0	225.5



□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。	
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙屑・木屑・繊維ｸｽﾞ等)、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ・廃プラ・廃油等）
水質汚濁防止法	貯油施設の事故時の対応と届出
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理・回収・破壊の工程の確認 空調機の簡易点検・定期点検の実施
浄化槽法	定期点検・水質検査
労働安全衛生法	特定化学物質第２分類物質「コバルト及びその他無機化合物」 ・作業主任者選任　・作業環境測定 ・健康診断　・発散抑制装置 粉じん防止規則 ・粉じん濃度の測定　・健康診断
2025/5/31に遵守評価の結果 環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。 なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示　実施日：2025年5月9日

エコアクション21は「環境マネジメントシステム」という事をしっかりととらえて行動を起こしていきましょう。２０２４年の稼働時間が増えたのは間違いありませんが、灯油、電気の数値の高さがそれだけが要因とは思いません。室温等の管理を十分に行えばある程度数値は抑えられたと感じます。生産ロス、購入ロスの削減から、生産性向上のためのテーマはいろいろと掲げられていますがそれが全社的に見える化され管理されているでしょうか、この辺りが少し弱く感じます。することを決め、決めたことを守るを徹底的に実行に移すことにより、「環境マネジメントシステム」の力が発揮されると思います。全員力を駆使して、一歩進んだ取り組みを進めていきましょう。

変更の必要性
- 環境経営方針：変更の必要なし
- 環境経営目標：変更の必要なし（前年度基準で計画）
- 実施体制：変更なし

本社 3M活動

社内改善

プロジェクターの経年劣化により、会議時の資料等が見辛かったため大型モニターを購入。
会議時の快適性が格段に上がりました。

本社　火災訓練

火災時対応マニュアルの確認および
火災を想定しての訓練を行いました。

3Mとは:3Sの進化型で、ムダ・ムリ・ムラを減らすための活動です。

米子工場 3M活動

2024.9.27
環境測定
コバルト及び粉じん

＊環境測定　　保健事業団　1名
開始時間　（9/27）AM 9時40分
　　粉じん・コバルト装置設置
　　（3/26）PM 13時50分
　　粉じん・コバルト装置設置
測定は同時に開始（両日）　約 80分

2025.4.5
団地一斉清掃

第一回目
　10/2（雨天の為中止）

第二回目
　4/2～4/5

米子工場 火災訓練

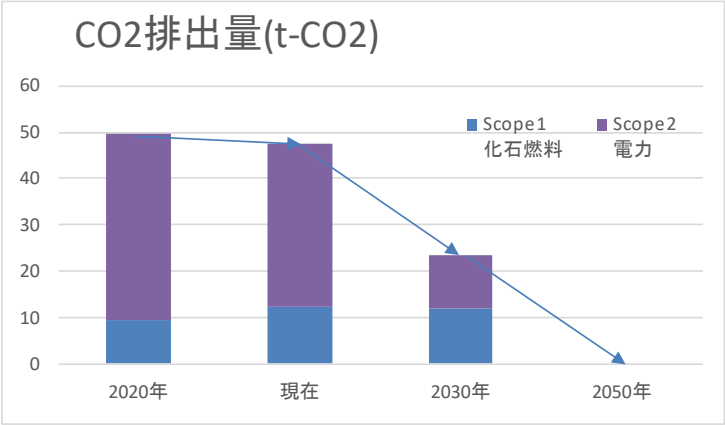
2024.6.21

防火・火災対応手順書の読み上げ
新入社員へ消火器の使用方法　説明
水消火器使用にて消火訓練

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位:t-CO2

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対　策
2020年	9.5	40	
現在	12.3	35.3	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	12	11.6	省エネ+再エネ電力(CO2排出量ゼロの電気を50%購入)
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。